

# **2019年度 研究不正防止計画**

**公立大学法人北九州市立大学**

## 不正等の発生要因分析、および、対応する今年度の主な実施事項

### 1 機関内の責任体系の明確化

1-1	不正等の発生要因	各責任者へ役割の周知が不足している。
	想定される問題	責任者の管理不足により、不正が見過される。
	今年度の実施事項	コンプライアンス責任者・研究倫理教育責任者に対する研修を行い、役割の周知徹底を図る

### 2 公的研究費の適正な運営・管理

2-1	不正等の発生要因	公的研究費の執行ルールが曖昧で、キャンパス間で統一されていない。
	想定される問題	担当者によって対応が異なる等の混乱が生じる。
	今年度の実施事項	経理担当部署の連携を強化し、執行ルールの統一化を進める。変更があれば、関係教職員に直ちに周知する。
2-2	不正等の発生要因	公的研究費の執行ルールや不正に関する認識が不十分である。
	想定される問題	不正という認識なしに、不正行為を行うリスクがある。
	今年度の実施事項	公的研究費に関わる教職員に対して研修を行う。また、執行ルールのガイドブックを学内ポータルサイトに掲載し、随時更新する。
2-3	不正等の発生要因	研究費の執行に計画性がない。
	想定される問題	年度末の駆け込み執行や、余った研究費での不必要な物品購入が起きる。
	今年度の実施事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修等において、研究費の計画的な執行を促す。</li> <li>・外部研究費について、その繰越制度等を周知する。</li> <li>・コンプライアンス推進責任者が、年度途中で執行状況を確認し、執行率の低い教員にヒアリングを行う。必要に応じて執行計画の見直しを指示する。</li> </ul>

### 3 公正な研究活動の推進

3-1	不正等の発生要因	どのような行為が不正行為にあたるかの知識が不十分である。
	想定される問題	不正という認識なしに、不正行為を行うリスクがある。
	今年度の実施事項	研究活動に携わる者には、研究倫理教育・研修を行う。

## 今年度の実施スケジュール

時期(予定)	実施事項
2019年4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新規採用教員に対する研究不正防止研修の実施(新任教員研修)</li> <li>○新規採用教員からの誓約書提出</li> </ul>
2019年5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コンプライアンス推進責任者・研究倫理教育責任者に対する研修の実施</li> </ul>
2019年7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究不正防止研修(全教員)の実施</li> </ul>
2019年9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2020年度科研費公募要領等説明会(不正防止含む)の実施</li> </ul>
2019年10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○10月採用教員からの誓約書提出</li> </ul>
2019年11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公的研究費執行状況調査の実施 (年度当初に執行を開始した繰越できない研究課題)</li> </ul>
2019年12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公的研究費内部監査の実施 ・書面監査、実地監査、リスクアプローチ監査</li> </ul>
2020年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公的研究費内部監査の結果を最高管理責任者(学長)に報告</li> <li>○公的研究費執行状況調査の実施 (年度途中で執行を開始した繰越できない研究課題)</li> </ul>